

## 茨城県立真壁高等学校自己評価表

No. 1

目指す学校像		1 基本的な生活習慣を身につけ、豊かな人間性をつちかう。 2 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図り、個に応じた進路指導の充実に努める。 3 専門教育の充実と地域社会との連携を密にし、開かれた学校づくりに努める。 4 学校行事への積極的参加、生徒会活動、部活動等の主体的活動の充実に努める。									
昨年度の成果と課題		重点項目		重点目標		達成状況					
1 基本的な生活習慣や規範意識、及び集団生活を通して豊かな人間性や社会性をどう身につけるか。		基本的生活習慣の確立 規範意識の高揚		①規律ある生活を心掛け、欠席、遅刻、早退を減らす。 ②校則や社会のルールを守り、制服をきちんと着用する。 ③生徒の実態を把握し、問題行動等の未然防止に努める。 ④関係機関との連携を図り、交通安全教育を推進する。		B					
2 基礎的・基本的な学習内容の定着に一定の成果がみられた。		基礎学力の向上		⑤授業時間の確保に努める。 ⑥公開授業や学習指導方法の工夫・改善を図り、指導力を高める。 ⑦生徒の学習意欲を高め、主体的な学習を支援する。 ⑧学力ステップアップスクールの積極的活用		C					
3 進路指導、特に就職内定の早期化と内定率が向上した。		進路指導の充実		⑨生徒の主体的な進路選択を支援する。 ⑩進路ガイダンスや職場体験等を通して、勤労観・職業観の育成に努める。 ⑪インターンシップ、資格取得、課外活動等の推進		B					
4 自ら学ぶ意欲を育むとともに、進路を主体的に選択する態度をどう育成するか。		生徒の主体的活動の充実		⑫学校行事や生徒会活動、HR活動、部活動等への積極的な取り組みを推進する。 ⑬開放講座、花づくり事業、ボランティア活動等を通じた地域との連携強化 ⑭活動を通して信頼関係を築き、満足感や達成感を体験する。		C					
5 主体的な生徒の取り組みとして「花いっぱい運動を」継続し、環境学習を推進する。											
評価項目		具体的目標		具体的方策		評価		次年度への主な課題			
教科指導	国語	基礎学力の向上を図る。		週一度のTT授業を行い、学力の定着度をみながら状況に応じた展開を行う。(1年生) ⑥⑦⑧		C	基本的な読み書きの定着	B			
				前年度までの学力をさらに向上させるため、読み書きの基本要件を踏まえた展開を行う。(全学年) ⑥⑦				C			
				漢字検定の積極的導入を行い、漢字能力の向上を図る。 ⑥⑦				B			
				小論文・作文等の課外を実施し、進路指導の一助とし、併せて自己表現力を高める。(3年生) ⑥⑦				D			
				授業内容の研鑽に努める。				授業内容、進度、方法等について教科内で研究・情報交換を行う。 ⑥		C	
				高教研などへの参加と参加教員の積極的な情報伝達・研修を行う。 ⑥				C			

評価項目		具体的目標	具体的方策	評価	次年度への 主な課題
教	地歴公民	基礎学力の向上を図る。	中学校の課程で学習してきた内容の復習を織り交ぜながら授業を展開していく。 ⑦	A	生徒に興味を持たせる授業を展開する
			教科書の内容を定着させるため、プリントに繰り返し取り組ませる。 ⑦	B	
	社会的事象への関心を高めさせる。	授業の中で新聞記事やインターネットのサイトを利用して時事問題を積極的に紹介及び解説する。 ⑥⑦	B		
	調べ学習等、生徒が主体的に取り組む授業の改善に取り組む。授業内容の研鑽に努める。	学校図書館と連携し、生徒が調べ学習を進めやすい環境づくりをする。 ⑥⑦	B		
科	数学	基礎学力の定着	1年生全員に中学3年までの内容を一人一人の定着度を小テストによりチェックし、一人一人に課題を設定して各項目(分野)の80%の定着を目標にする。(定着度テストの実施) ⑥⑦	B	生徒のやる気を引き出せる教育内容の充実を図る
		授業の内容理解の向上	普通科においては、習熟度別学習を実施し、生徒の理解の速度に合わせた授業を展開し、個別指導に努める。 ⑥⑦⑧	B	
		分かる授業の展開	授業内容を精選し、生徒の理解の速度に合わせた授業を研究、展開する。理解度の高い生徒には、補習等を実施し、更なる理解の向上に努める。 ⑥⑦	B	
指	理科	基礎学力の向上を図る。	実験・観察を通じ、基本的事項の定着を図る。 ⑥	C	実験・観察を少しでも増やせるようにする
			小テスト等を利用し、理解度の把握に努め、必要に応じて補習等を実施する。 ⑥⑦	C	
		興味・関心を高める授業、わかる授業の実践に努める。	実験・観察やITの利用などに積極的に取り組む。 ⑥⑦	C	
			研修会への参加や教科内での協議を積極的に行う。 ⑥	C	
導	保健体育	実際の生活で役立つ保健の知識を習得させる。	喫煙の外、性感染症、心の健康など現代的な問題については、各自が重要な課題として認識できるようにする。 ⑦	B	もっと運動に対する興味関心を持たせるように工夫する
		運動ができる喜びを実感する体育の授業改善に努める。	生徒が理解しやすい教材、教具(パワーポイント)、実習(心肺蘇生法)などを工夫する。 ⑥⑦	B	
		基礎体力の向上を図る。	運動の嫌いな生徒、苦手な生徒が運動する楽しさを感じられるような工夫をする。 ⑥⑦	B	
		各種研究会に参加し、教科会で伝達するとともに自己研鑽に努める。 ⑥	B		
		速やかな整列・集合、ジャージ着装を徹底し、授業に臨む基本的な態度を身につける。 ⑥	A		
		スポーツテストや持久走などの結果をランキング形式で発表するなど意欲を高める工夫をする。 ⑥⑦	A		
		スポーツランキングへの参加率を高める。 ⑦	B		
音楽	自ら演奏する喜びを体感させる。	校歌を歌唱させることにより、愛校心を持たせる。 ⑥⑦	A	生徒が積極的に取り組めるよう工夫する	
		身近な楽器を設定し、生活を豊かにする想像力を身につけさせる。 ⑦	A		
	創造的な表現能力を伸ばす。	歌唱・キーボードなど変化に富んだ教材・演奏方法で興味関心を持たせる。 ⑦	A		
		楽語などの楽典を学習させ、対象となる楽典の表現力を伸ばす。 ⑦	B		
	日常的に楽しみ、味わう鑑賞活動を習慣づける。	楽曲を深く学習し、楽曲の特性を活かした表現力を伸ばす。 ⑦	B		
		オルゴールを作ることにより、日常的に鑑賞することの楽しさを味合わせる。 ⑦	B		
		完成の喜び、友達、プロの演奏の素晴らしさを味合わせる。 ⑦	B		

評価項目		具体的目標	具体的方策	評価		次年度への 主な課題		
教 国 語	基礎学力の向上を図る。	英語で話す喜びを実感させる。	音読の指導と小テストを行い、英語を読む力と自信をつけさせる。 ⑦	B	B	英検合格者が増えるように指導する		
			書く力の土台を強化するため、机間指導やノート提出を頻繁に行う。 ⑦⑧					
	英語検定の合格を目指し、個別指導を行う。 ⑦⑧	C						
	A L Tとの授業を計画的に行い、英語で話す機会を多く設ける。 ⑦	A						
			個別に会話のテスト、指導を行う。 ⑦⑧	B				
科 家 庭	基礎学力の向上を図る。	実験・実習を充実させる。	学習内容を通して身近な生活の問題を解決していく力を身につけさせる。 ⑦⑪	B	B	興味関心の持てる内容を工夫して取り入れ、学習の効果を高める		
			地域にある素材の活用を通して、食への関心と安全・健康に対する理解を深める。 ⑦	A				
	体験学習を通して、生徒の学習意欲を高め、自分の生活を見直すことができたか。 ⑦	B						
指 報	情報活用の実践力を養う。		実習を通し、コンピュータやソフトウェアの操作の習熟に努める。 ⑦	A	A	検定試験などを目標とし、学習の効果を高める		
			実習においては、生徒にとって関心が高く、情報源の豊富なテーマ設定に努める。 ⑥⑦	A				
			情報社会での問題点についても、実習の中で理解が深められるように努める。 ⑥⑦	B				
導 農 業	農業に関する情報を発信し、地域社会の活性化を図る。	実験・実習を充実させ魅力ある農業教育を展開する。	農業科	各学年において、段階的な学習を確立する。 ⑥	A	A	教科指導、進路指導、生徒指導を充実させ、入学希望者を増加させる	
				各授業の具体的な目標を設定し、授業内容の充実を努める。 ⑥				
			環境緑地科	座学と圃場が一体化した授業を展開し、知識・技術の更なる定着を図る。 ⑥⑦	B			
				プロジェクト学習や課題研究など、生徒が主体的に学ぶ取り組みを促す。 ⑥⑦	A			
				環境緑地科	実験・実習を通して基礎的な専門科目の確実な定着に努める。 ⑦			A
				ティームティーチングによる実験・実習の展開から、生徒一人一人の主体性を向上させる。 ⑥⑦	A			
		目的を明確にさせ具現化に向けた指導をする。 ⑦	B					
	食品化学科	新施設・設備を利用した実験実習方法の充実・確立に努める。 ⑥	A	A	A	A	教科学習の基礎基本を身につけさせ、検定試験なども目標とできる指導をする	
		生徒の安全に配慮した実験・実習に心掛ける。 ⑥						
		基礎・基本を大切にし、体系だった学習方法の充実・確立に努める。 ⑥						
		ボイラー技士及び危険物取扱者の資格取得向上を目指す。 ⑦⑪						
						B		

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度への 主な課題
教 務	学科の特長を生かした教育課程の編成と運営に努める。	学科の特長を生かした教育教育課程の編成を目指し、また、生徒の希望に対応できるようにする。 ⑥	B	I Tの活用を推進し、それに伴う環境を整備していく
		運営にあたっては、学科間のバランスに注意し、全体としての融和を図る。 ⑥⑦	A	
	円滑な学習活動および授業運営に努める。	年間の授業曜日が学校行事等で偏らないようにする。 ⑤	A	
		出張や年休の場合には、事前に授業交換を行い自習が生じないよう努力する。生徒の日々の学習活動が円滑に進むように努める。 ⑤	B	
I Tの活用を図る。	研修機会の充実を図る。 ⑥	B		
生徒指導	基本的生活習慣の確立及び問題行動の未然防止に努める。	立哨・巡回指導を充実させ、個々の生徒の動向がHR担任に見えるようにする。 ①②③④	B	授業中を含めた生活態度・マナー等の生活習慣の確立
		授業中を含めた日常生活の態度やマナー等、個々の生徒の状況に合わせて、保護者の協力を依頼する。 ①②③	C	
	交通安全教育の推進及び教育相談の充実を図る。	警察署・交通安全協会等、関係機関と連携し講演や実技講習会を実施し、交通安全意識の向上に努める。 ③④	A	
		スクールカウンセラー・カウンセリングアドバイザー等、関係機関と連携し、研修会・講演会を実施する。 ③	B	
進路指導	生徒の主体的な進路選択の支援を図る。	各学年と連絡を密にし、3年間を通じた体系的な進路指導を行う。 ⑨⑩	B	基礎学力を向上させ1年次から3年次まで通じた進路指導を行い、生徒の目標の達成ができる指導をする
		進路説明会、基礎学力テスト、適性検査等を実施する。 ⑨⑩	A	
	進学指導、就職指導を充実し、生徒個々の進路実現を図る充実を図る。	「進路news」を発行し、積極的に提供する。 ⑩	B	
		課外活動、小論文指導等を行い、多様な入試形態に対応できる実力を養う⑥⑦ インターンシップ等の体験を通して、職業観・勤労観を育てる。 ⑦	B C	
特別活動	学校行事や生徒会活動、HR活動を通し、集団の一員としての自覚を深め、生徒一人一人の個性の伸長と調和のとれた豊かな人間性の育成を目指す。	生徒会活動を通し、生徒が主体的により良い学校生活や社会生活を考える機会を増やす。 ⑫⑬⑭	B	常置委員の活性化
		晨光祭・クラスマッチ等の学校行事を通し、責任の遂行の大切さを理解し、満足感や達成感を体験させ、学校に対する帰属意識を高める。また、幅広い人間関係の構築を目指す。 ⑫⑭	A	
		HR活動や常置委員会の活動を通し、生徒相互の連帯を深め、良き市民としての素養を培う。 ⑫⑭	B	
保健体育	心身の健康増進に努め、知識と能力を育てる。	性教育、薬物乱用防止教育を推進する。 ③	B	心身の健康についての知識を高める
		心身の健康状態の把握に努め、適切な指導・援助を行う。 ③	B	
	健康で安全な学校環境の整備に努め、功德心を育てる。	個別相談等による健康相談活動（スクールカウンセラー等の活用）を推進する。 ③	B	
		施設・設備の安全点検・管理を徹底する。 防災組織の編成・防災避難訓練の実施により、非常時の安全教育を行う。 清掃用具の管理と清掃指導の徹底に努める。	B A B	

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度への 主な課題
図 書	生徒が利用しやすいように図書館の環境を整える。	絵本など、情操を豊かにする本を図書委員会の活動の一環として書棚に整理し、閲覧できるようにする。③⑦	A	資料の充実と利用者を増やすような環境づくり
		生徒の希望を考慮し、小説・写真・漫画等の本も購入する。⑦	A	
	易しい内容の本により、本に親しむ習慣を身に付けさせる。	「図書館だより」を定期的に発行し、生徒の反応を確かめて利用率の向上を図る。⑦	A	
		授業やHRの中で図書館施設及び視聴覚教材の利用を図る。⑦	A	
渉 外	PTA活動の活性化を図る。	各種行事への参加率を高める。④⑦	A	さらなるPTAの活性化
		PTA各種委員会を活性化する。③⑦⑭	A	
事 務	授業料滞納の解消と授業料免除制度の広報活動に努める。	校内委員会・学年会を通して教職員の共通理解を図り、授業料滞納の解消をすすめる。	B	授業料滞納者を減らす努力
	省エネルギー・省資源に努める。	教職員の共通理解を求めながら電気使用量，上水道使用量，燃料使用量，用紙類使用量等を削減し，環境対応品の購入増を図る。⑦	B	
	学習環境の整備に努める。	校内の破損箇所の即対応と共に環境美化に努める。また，教育活動が円滑に進められるよう効果的な予算執行を図る。⑦	B	
第1学年	欠席遅刻を増やさない。	家庭との連絡を十分に取り、多くなる傾向の生徒に対しては、生活習慣の指導を行う。①	B	校内巡視の強化
	授業を大切にする気持ちを養う。	校内巡視を行い、開始時間の厳守を促し、抜け出している生徒がいれば指導を行う。②	C	
		教科担当者との連絡を密にする。(担当者会などの実施) ⑥	C	
	問題行動の未然防止	校内巡視の励行、家庭との連携を大切にする ③	C	
	挨拶や身だしなみを大事にする。	職員室への入室時などをとらえ、普段から挨拶や言葉遣い・身だしなみの大切さを指導する ①②	B	
第2学年	分かる授業を行う。	学年に所属する教員が相互に公開授業を行う。⑥	C	欠席・遅刻を減らす
	服装をきちんとさせる	生徒指導票を積極的に活用する。①②	C	
	遅刻欠席を減らす。	家庭との連絡を密に行う。①	D	
第3学年	基本的な生活習慣の確立に努める。	清潔な教室を保つ。清掃指導を徹底し，清掃用具が整った状態を保つ。①⑦	C	進路指導と生徒指導，学習指導の連携によるキャリア教育を行い生徒の進路実現を目指す
		遅刻・欠席の減少に努める。①	C	
		服装・頭髪指導を徹底する。①②	C	
	校内巡視による問題行動の未然防止に努める。③	C		
	家庭との連絡を密にする。①③	B		
進路に対して主体的に取り組み，自己の目標を実現する。	進路指導の研修に努め，生徒一人一人の個性にあった進路相談に努める。⑨	B		
	就職，進学のための面接指導や一般常識試験を継続的に実施する。⑩⑪	B		

評価基準 A：大変よくできた B：よくできた C：普通 D：やや不十分 E：不十分